

平成26年度 学校評価アンケート（教職員）結果について

平成27年2月9日 全日制

【学校教育目標】

- ・個性の確立と伸長に努め、合理的思考や態度を養い、創造力を培う。
- ・基礎学力の向上に努め、進路に関する適正な指導を図る。
- ・相互協調と信頼の念を深め、個人と集団の調和を保つことのできる情操豊かな人格を育成する。
- ・健康で明るく、勤労を尊び、強固な精神力をもつ人材を育成する。

【評価結果】

1 上位項目

- (1) 教育目標の設定と評価 (質問項目1(4.8)・2(4.7))
個々の生徒の進路希望実現に向けた様々な取組が適切に実施されているとともに、評価・改善へと結びつけられている。
- (2) 学校の特色(S S Hや医進類型)を考慮した教育課程の編成 (質問項目12(4.8))
外部機関との連携による生徒への意識付け、事前事後指導の改善が図られている。
- (3) 進路指導の方針の明確化、説明 (質問項目21(4.7))
統一学校説明会を初めとして進路情報の発信に努めるとともに、保護者懇談会及び三者懇談の実施により、個に応じた指導を実施している。

2 下位項目

- (1) 学年・分掌・教科間の連携 (質問項目4(3.9))
各学年は毎週火曜日放課後、教科は共通の空き時間を設けるなど、定期的に部会等を設定しているが、それぞれの分掌等がどのような会議を行なっているかが不明確である。
- (2) 全校体制としてのS S Hへの取組 (質問項目13(3.8))
S S Hに関する各取組を通して、生徒の学習意欲・能力の向上は図られているが、学校全体として取り組んでいると実感できていない。
- (3) 保護者・地域との連携、行事への積極的参加 (質問項目29(3.8)・30(3.3))
ホームページによる教育活動の発信、土曜日公開授業・保護者説明会・学校評議員会の開催等により、教育活動の説明に努めている。
また、運動系各部活動による敷地周辺のゴミ拾いの他、器楽部による「安全・安心まちづくり」のジョイントコンサート、チア部によるクレインズ応援等地域の行事への協力活動も実施しているが、校内で周知されていない。

3 昨年度と比較して下がった項目

- (1) 教科・分掌・全体研修の積極的实施 (質問項目5(4.2←4.3))
2の(2)同様、互見授業やS S Hワーキンググループの公開授業の結果等が校内で共有されていない。
- (2) 生徒の主体的活動による行事・HR活動 (質問項目24(4.3←4.4))
行事の精選による生徒への指導のしにくさを感じているとともに、生徒会を希望する生徒も減少傾向にある。

【次年度へ向けて】

- (1) ポイントが前年度を上回る評価項目が多く、今年度の取組を継続しながら改善・充実を図る。
- (2) 各分掌、教科、部活動等の取組を積極的に外部へ発信するとともに、まず校内での周知を図る。